

## 桐生市・みどり市の連携強化と 広域経済交流の促進について（改訂継続）

桐生商工会議所が長年にわたり要望しておりました桐生市とみどり市との合併推進につきましては、平成28年5月にみどり市から任意合併協議会の設置の見送りが正式に伝えられ、合併協議にピリオドが打たれました。

かつて一市三町三村で構成されていた桐生広域経済圏は互いの地域特性や立地条件が有効に生かされ、長い広域圏行政のもとで将来の豊かな発展を構想しつつ緊密な連携を深め、共に歩んでまいりました。行政として両市が分断されている状況は、住民生活はもちろん産業活動や地域振興、観光面などあらゆる分野において様々な問題が生じております。桐生市とみどり市が互いの地域コミュニティを保ちつつ、連携し補完し合いながらひとつの経済圏、生活圏を形成していくことこそ、地方創生を具現化し、これからの厳しい都市間競争に勝ち抜いていくための方策であると考えます。

当所は、昭和47年に広域経済交流団体としての「赤城地区経済交流会」を発足、現在は「桐生市・みどり市経済交流会」と名前を変えて広域経済交流を推進しておりますが、桐生市とみどり市との合併推進は組織発足以来の変わらぬ基本姿勢であり、将来の実現を望むものであります。

両市とも市長が代われ、ともに両市の連携強化に積極的に取り組まれる方向性を示されておりますことが報道されています。産業界として大いに歓迎すべきことであります。桐生市におかれましては、両市の連携強化と併せて広域経済交流の促進について、今後の市政運営に強く反映していただきたく強く要望いたします。

### 桐生市からの回答

桐生地域の経済につきましては、古くから、貴所を中心とした産業団体や各企業が、行政の枠組みを越えた経済交流・連携により発展してきたものと認識しており、今後も桐生広域での経済交流の促進は必要であると考えております。

本市におきましては、貴所及び桐生信用金庫と締結した「包括的連携・協力に関する協定」の趣旨に基づく三者連携事業として、ビジネスマッチングフェアを実施しており、地域における新たな取引先の開拓や、企業間連携への発展を図ることで、桐生市及びみどり市を中心とした広域的な経済交流につながっているものと捉えております。

今後も、貴所や民間企業などの経済交流活動について、連携、支援することにより、地域経済の発展に努めてまいりたいと考えております。

[回答担当] 産業経済部産業政策課産業政策係

なお、これまで以上に桐生市・みどり市が緊密に連携し、各分野における政策を進めることで、行政の効率化や市民サービスの向上につなげることを目的に、「桐生・みどり未来創生会議」を両市が共同で設置することといたしました。

会議を通じて地域の均衡・発展を図るとともに、両市の市民が享受するメリットの最大

化を目指したいと考えております。

[回答担当] 総合政策部広域連携推進室広域連携推進担当